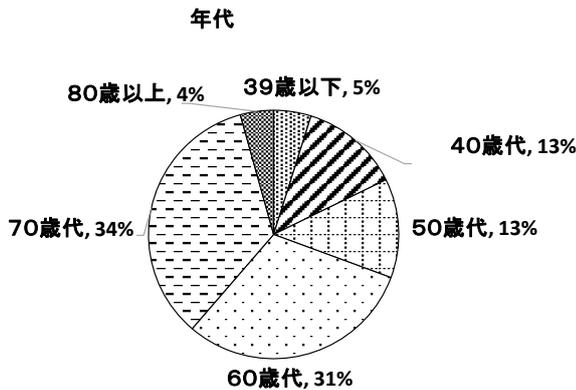


令和3年度 町内会長アンケート結果

調査目的	地域課題の現状把握に努め、今後の協働のまちづくりの推進に活かしていくため。
調査内容	今年度から市広報発行回数を変更していることや平成30年度に実施した調査結果に基づく町内会の課題、市の補助制度等に関すること。
調査期間	令和3年7月29日～令和3年8月20日
対象者	220
回答数	186
回答率	85%

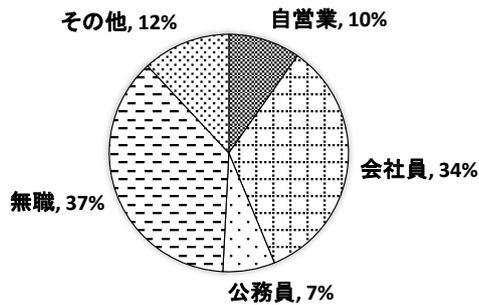
問1-① 会長の年代

	回答数	構成率
39歳以下	9	5%
40歳代	24	13%
50歳代	24	13%
60歳代	57	31%
70歳代	64	34%
80歳以上	8	4%
計)	186	100%



問1-② 会長の職業

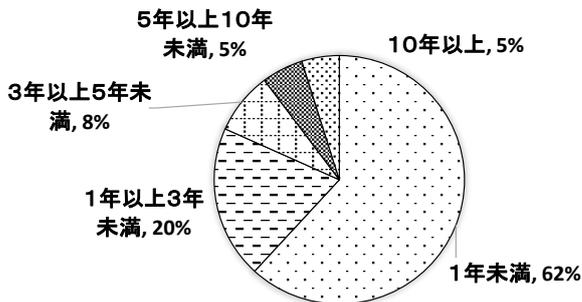
	回答数	構成率
自営業	18	10%
会社員	63	34%
公務員	13	7%
無職	69	37%
その他	22	12%
計)	185	100%



会社代表者、会社顧問、市立高校教員、非常勤役員、農業、アルバイト・パート、主婦

問1-③ 現在の会長の在職年数(通算)

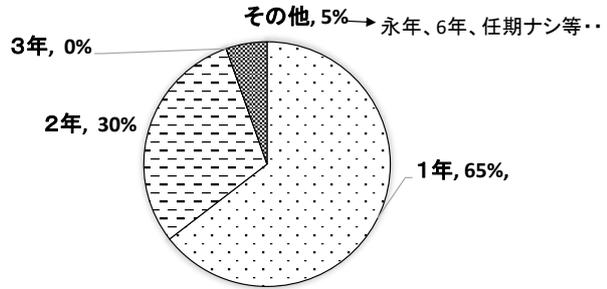
	回答数	構成率
1年未満	115	62%
1年以上3年未満	36	20%
3年以上5年未満	15	8%
5年以上10年未満	10	5%
10年以上	9	5%
計)	185	100%



町内会の基礎情報

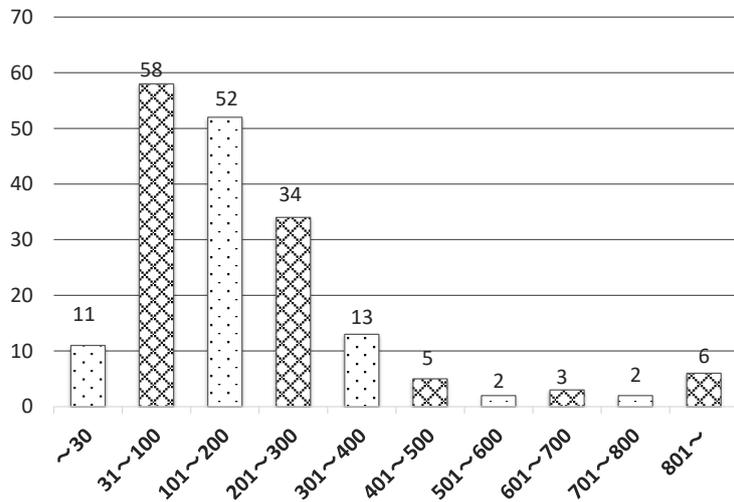
問2-① 会長の任期

	回答数	構成率
1年	120	65%
2年	56	30%
3年	0	0%
その他	10	5%
計)	186	100%



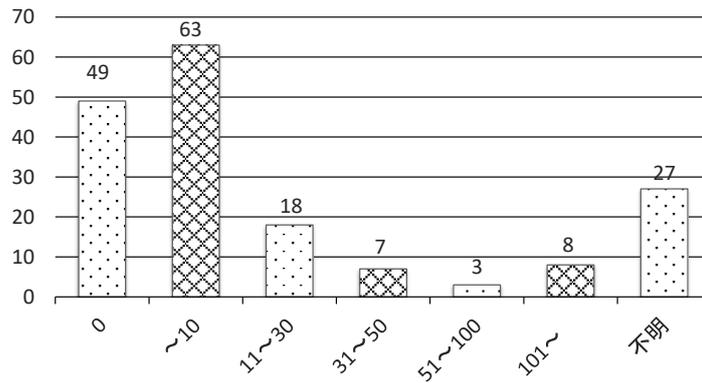
問2-② 加入世帯数

	回答数	構成率
~30	11	6%
31~100	58	31%
101~200	52	28%
201~300	34	18%
301~400	13	7%
401~500	5	3%
501~600	2	1%
601~700	3	2%
701~800	2	1%
801~	6	3%
計)	186	100%



問2-③ 未加入世帯数

	回答数	構成率
0	49	28%
~10	63	36%
11~30	18	10%
31~50	7	4%
51~100	3	2%
101~	8	5%
不明	27	15%
計)	175	100%

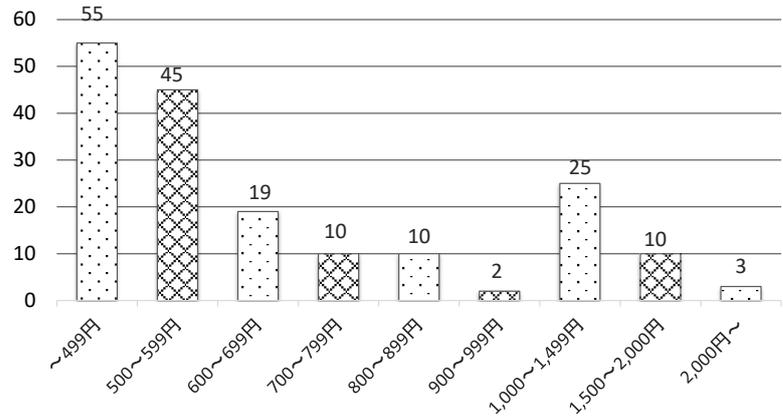


町内会の基礎情報

問2-④ 1世帯あたり会費(月額)

	回答数	構成率
～499円	55	31%
500～599円	45	25%
600～699円	19	10%
700～799円	10	6%
800～899円	10	6%
900～999円	2	1%
1,000～1,499円	25	14%
1,500～2,000円	10	6%
2,000円～	3	1%
計)	179	100%

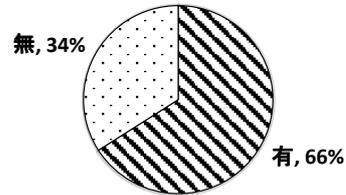
※集合住宅や単身世帯は会費が違う場合もあり



平均 637 円/月

問2-⑤ 役員報酬の有無

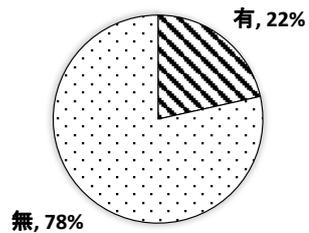
	回答数	構成率
有	122	66%
無	63	34%
計)	185	100%



問2-⑥ 活動不参加料(※)の有無

	回答数	構成率
有	40	22%
無	146	78%
計)	186	100%

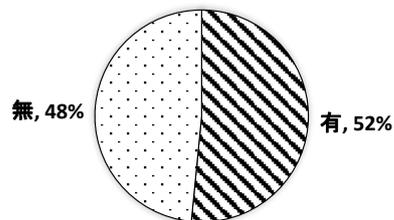
※町内会行事(草刈りなど)への不参加に対し負担金を徴収する



問2-⑦ 賛助会員(※)の有無

	回答数	構成率
有	67	52%
無	63	48%
計)	130	100%

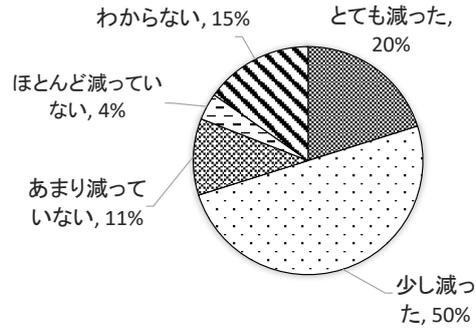
※企業や商店等で会員となっているもの



広報等配布について

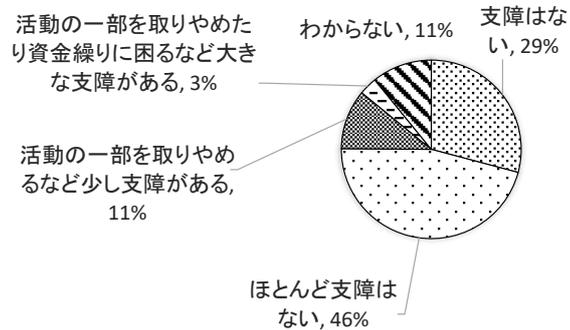
問3 令和3年度から、市の配布物や回覧物の配布回数を月2回から月1回に変更しましたが、配布の負担感はどうなりましたか。*

	回答数	構成率
とても減った	38	20%
少し減った	92	50%
あまり減っていない	20	11%
ほとんど減っていない	7	4%
わからない	28	15%
計)	185	100%



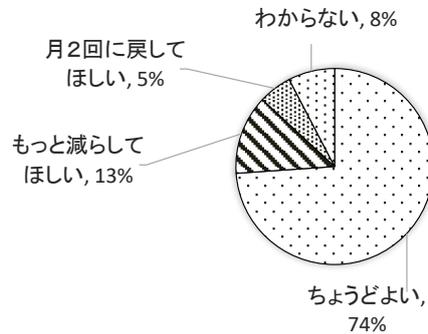
問4 全戸配布物等の配布回数が月2回から月1回になったことや、広報くさつ等の配布物の種類が削減されたことに伴い、令和3年度から行政事務委託料を減額していますが、町内会運営に支障はありますか。

	回答数	構成率
支障はない	55	29%
ほとんど支障はない	85	46%
活動の一部を取りやめるなど少し支障がある	20	11%
活動の一部を取りやめたり資金繰りに困るなど大きな支障がある	6	3%
わからない	20	11%
計)	186	100%



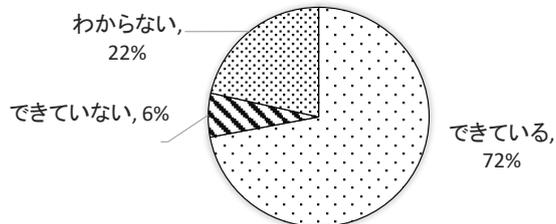
問5 広報くさつの月1回の発行回数はいかがですか。

	回答数	構成率
ちょうどよい	136	74%
もっと減らしてほしい	25	13%
月2回に戻してほしい	10	5%
わからない	14	8%
計)	185	100%



問6 広報くさつが月1回の発行となりましたが、必要な市の情報を知ることができますか。

	回答数	構成率
できている	134	72%
できていない	12	6%
わからない	40	22%
計)	186	100%

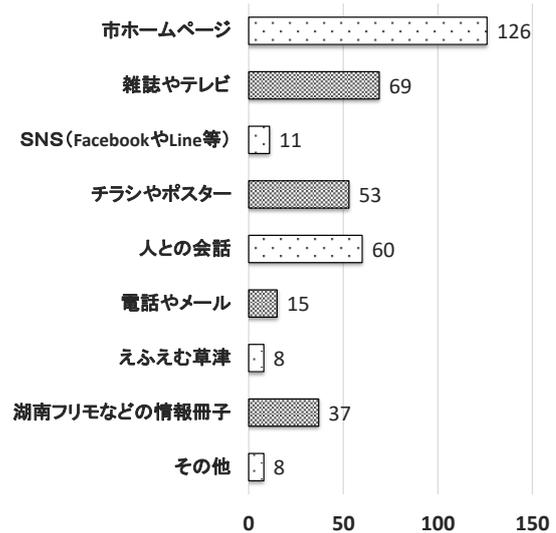


広報等配布について

問7 広報くさつ以外でどのように市の情報を入手されていますか。

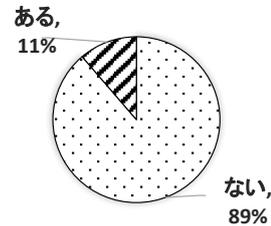
	回答数	構成率	参考比率
市ホームページ	126	33%	66%
雑誌やテレビ	69	18%	36%
SNS(FacebookやLine等)	11	3%	6%
チラシやポスター	53	14%	28%
人との会話	60	15%	32%
電話やメール	15	4%	8%
えふえむ草津	8	2%	4%
湖南フリモなどの情報冊子	37	9%	19%
その他	8	2%	4%
計)	387	100%	

参考比率＝回答数／190町内会



問8 広報くさつの発行回数が月1回となったことで困られたことはありますか。

	回答数	構成率
ない	161	89%
ある	21	11%
計)	182	100%



■具体例

【情報量について】

- ・市の情報を入手が出来ず困っている
- ・1回で情報が濃く(多く)、回覧板も1回で見落としがち
- ・広報に載らない記事は都度おしらせしなければならない
- ・回覧物が増え、町民が正しく情報を得られているのか心配している
- ・役所との連携が希薄になる住民が発生すると思われる
- ・コロナワクチン接種など気になる情報が有るが困っていない
- ・昨年までは4月15日号に2ページを割いて記載されていた市民体育大会の要項が記載されず、参加者がほとんどなかった

【回覧関係】

- ・回覧のタイミングが難しくなった
- ・会員への適時配布機会が減り、不便を感じる
- ・他の配布物(町内、学区等からの配布物)の配布のタイミングが合わない時があり、月1回の広報発行に合わすのが大変(同様意見5件)
- ・回覧が月1回になったことで、通知が緊急通知とまでいかないものは翌月になってしまい、締め切りが過ぎてしまうものは回さないことになる
- ・情報提供時期のズレ
- ・間があきすぎて15日に通知を出す時もある
- ・くさつシェイクアウト2021など、全戸に知らせるのに間に合わない
- ・一回の配布物量が多い
- ・組長宅ポストに配布していたが、量が増えて無理
- ・多量の場合、仕分けに労力がかかる

【その他】

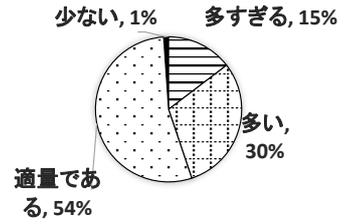
- ・町内の絆が薄れる、情報が少なくなる
- ・委託側が困らなければ受ける側は困ることがない
- ・広報配布日に三役打ち合わせ会をするが、回数減でタイムリーな打ち合わせが出来ない
- ・広報くさつ配布と同時に他の書類・回覧用が届くが、3~4日留守時に時期が過ぎているものがあった

広報等配布について

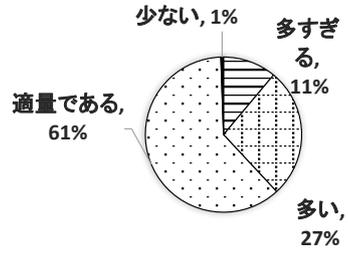
問9 広報くさつ以外の市からの全戸配布物や回覧物の量について。

	全戸配布物		回覧物	
	回答数	構成率	回答数	構成率
多すぎる	27	15%	20	11%
多い	56	30%	49	27%
適量である	100	54%	112	61%
少ない	2	1%	1	1%
計)	185	100%	182	100%

全戸配布物



回覧物

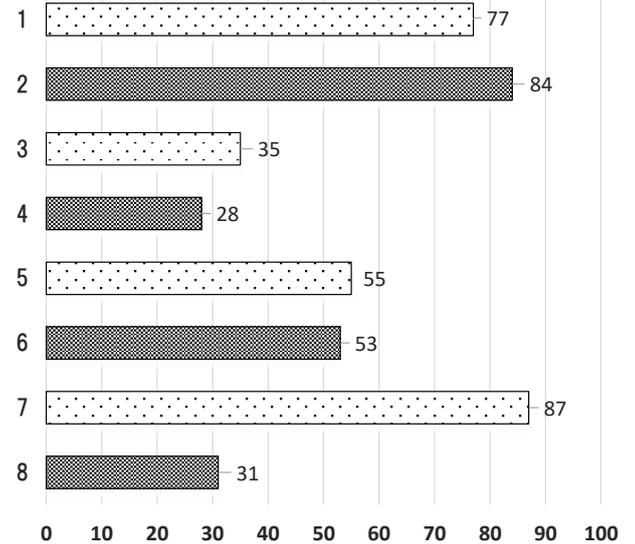


役員の負担軽減について

参考比率＝回答数／190町内会

問10 町内会役員の負担を軽減するにはどうすればよい(どうできたらよい)と思いますか。

	回答数	構成率	参考比率
① 町内会の運営方法を見直す	77	17%	41%
② 町内会の活動内容を見直す	84	19%	44%
③ 町内会や役員のマニュアルを作成する	35	8%	18%
④ 市からの全戸配布物や回覧物をもっと削減する	28	6%	15%
⑤ 市からの会議やイベント等の出席機会を減らす	55	12%	29%
⑥ 市からの事業協力や市との調整機会を減らす	53	12%	28%
⑦ 地域内の会議等の出席機会を減らす	87	19%	46%
⑧ その他	31	7%	16%
計)	450	100%	



【役員選出等】

- ・居住会員が少数・高齢の為、町内会自体の維持・継続が年々困難になっている
- ・リタイヤした人の長期運営/役員間の分担
- ・町内会世帯数に合った役員数
- ・役員選出方法や役員複数人制・事業の統合や廃止を見直し
- ・あて職の問題(なくせば組織維持が難しくなる)

【まちづくり協議会】

- ・まち協事業の担当部項目が多すぎる。もっと集約することを要望する。市がまち協に依存・期待しすぎる為各まち協の事業競争になっているのではないか？

【業務の簡素化】

- ・コロナ禍でなくとも書面決議の検討、環境的に難しいがWeb開催の検討
- ・年間の市主催行事と提出書類リストを資料集に掲載し、全体説明会で説明

【その他】

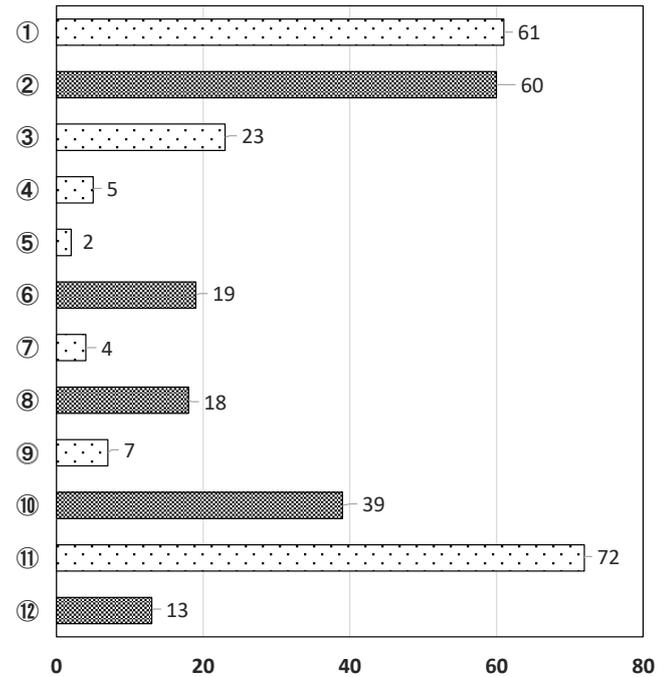
- ・無駄とは言わないがあまり意味のない会議はやめてほしい
- ・コロナ禍でリサイクルフェアが開催されることに疑問
- ・コロナ禍で昨年度、今年度共に十分時間をかけての会議が難しく、悩みが多い
- ・ボランティア(役員)のモチベーションを上げるには活動の負担を減らすとか、ボランティア報酬を上げるとかは違うと思う。行政は「共助」をアピールするが「地域活動の人づくり」という難題に取り組んでもらいたい。地域住民から感謝され、楽しく安心な地域社会をつくることでやりがいを感じる役員にしていくべきで、今の時代はその考えが薄れているのか？私たちは多様化社会の意味をはき違えていないか
- ・PCのデータにのこす
- ・特に軽減の必要はない
- ・そもそも委嘱を受けている以上、軽減をどうこう言うより、負担となりうる事に対する配慮がなされれば文句を言うべきものでない

役員の負担軽減について

参考比率＝回答数／190町内会

問11 町内会への活動参加や加入促進のために、地域で実際に行っていることはありますか。

	回答数	構成率	参考比率
① 活動参加や加入促進を直接声掛けしている	61	19%	32%
② 活動参加や加入促進のチラシを配布している	60	19%	32%
③ 広報誌で活動参加や加入促進を案内している	23	7%	12%
④ 地域のホームページで活動参加や加入促進を案内している	5	2%	3%
⑤ LINEなどのSNSを通して活動参加や加入促進を案内している	2	1%	1%
⑥ 町内会の存在をアピール(イベント時にPR、ジャンパー製作など)している	19	6%	10%
⑦ 参加呼び掛けのマニュアルを作っている	4	1%	2%
⑧ 若い世代が参加しやすい企画にしたり、若い世代と協力して企画している	18	5%	9%
⑨ 町内会員にニーズ調査を行った	7	2%	4%
⑩ 子ども会やPTA、他団体と連携して活動参加を呼び掛けている	39	12%	21%
⑪ 特に何もしていない	72	22%	38%
⑫ その他	13	4%	7%
計)	323	100%	



【イベント周知】

- ・防災訓練などの積極開催、独自イベント(ワンファミリーフェスティバル企画)
- ・町民全員参加型の事業・作業を最重要事項として活動方針にしている
- ・草刈他の大きなイベントは1日前に全戸配布1週間前に回覧

【声かけ】

- ・新築時、転入時に入会勧誘(同様意見2件)、
- ・新築時、転入時に参加義務づけ
- ・昨今退会者が増えたので、退会する人には退会理由をたずねる
- ・直接声掛けをしても町内参加が少ない

【PR】

- ・2ヶ月に1回、町内独自の広報誌を全戸に配布
- ・向う3軒両隣となりあいさつとなかよくをアピールしている

【高齢化】

- ・高齢化に伴い一人住まいの方等も増え退会を希望される方もいる。その為加入する事の必要性を伝えるのも難しい
- ・少子高齢化で以前と同じ活動は出来ない
- ・高齢化、学生マンション経営者が変わるなどで上記項目では対応が難しくコミュニティへの感覚が変化大

【その他】

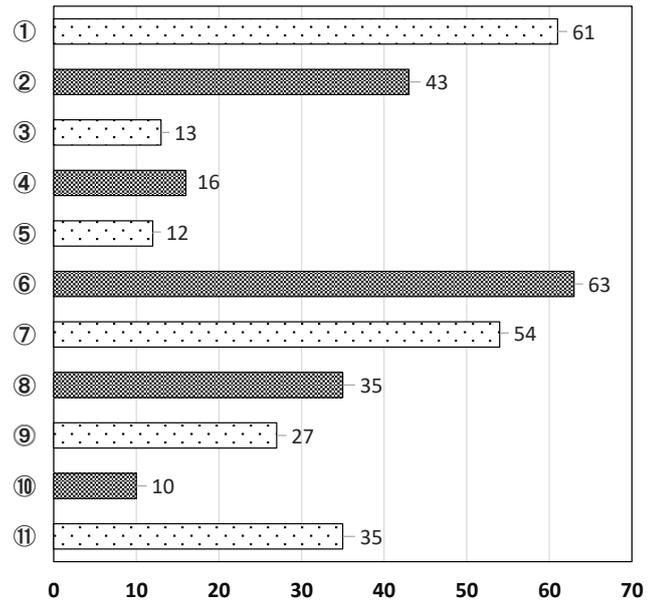
- ・同和教育ビデオ(動画)のような加入するメリット・デメリットを(デメリットは基本的にない)声掛けするようなドラマ的な教材はないか(あれば助かる)
- ・何もなくても全戸町内会に参加して行事や活動にも参加している

役員の負担軽減について

参考比率＝回答数／190町内会

問12 町内会への活動参加や加入促進を進めるには、どうすればよい(どうできたらよい)と思いますか。

	回答数	構成率	参考比率
① 地域で活動参加や加入促進を直接声掛けする	61	17%	32%
② 地域で積極的に情報発信(広報誌やホームページ、掲示板など)を行う	43	12%	23%
③ LINEなどのSNSを通して活動参加や加入促進を案内する	13	4%	7%
④ 町内会の存在をアピール(イベント時にPR、ジャンパー製作など)する	16	4%	8%
⑤ 参加呼び掛けのマニュアルを作る	12	3%	6%
⑥ 若い世代が参加しやすい企画にしたり、若い世代と協力して企画する	63	17%	33%
⑦ 町内会員のニーズを把握する	54	15%	28%
⑧ 市から市民に活動参加や加入促進を呼び掛ける	35	9%	18%
⑨ 市から先進地事例などの情報提供が必要である	27	7%	14%
⑩ 上記以外に市からの支援が必要である	10	3%	5%
⑪ その他	35	9%	18%
計)	369	100%	



【メリットPR】

- ・町内会に参加するメリットの発信(同様意見3件)
- ・町内会に加入しない理由として、町内会役員になることや地域活動への参加を嫌うことにあるため、町内会加入による生活へのメリットがこれを上回る必要がある
- ・コミュニティを維持するのに何故必要なのか他の情報発信、単体での趣味嗜好のある時代に団体行事(運動会他)のギャップと整合性をどのように築き上げるか

【高齢化、世帯構成】

- ・高齢・少数で活動自体は限度あり。運営側が少数・高齢で企画促進も限界あり
- ・会員の高齢化を考慮した活動内容の立案

【負担軽減】

- ・負担を減らす。年齢制限。80歳以上の役員免除等
- ・市からの協力体制を形式的なものではなく、実質的に役立つものにして欲しい
- ・各種団体や学区へ出す人数を削減
- ・若い方に負担(重荷)にならない様に、町内会役員、まちづくり部会等を考える必要がある
- ・役職の見直しを行う
- ・地域に応じた活動にする

【周知】

- ・転入時の勧誘
- ・町内会への加入の必要性を周知する
- ・役員に参加された方に翌年も参加してもらえる様に声掛けし、1人でも多くの方との交流出来て行けば楽しい

【その他】

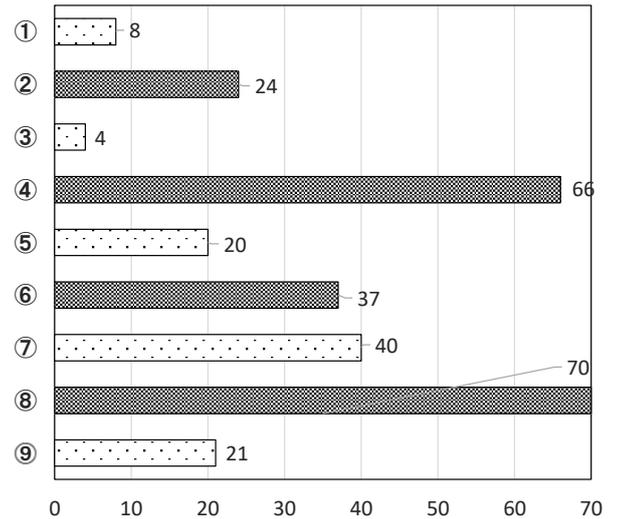
- ・町内会への加入は任意であり、現下の社会情勢からして加入促進は難しい
- ・仕事で参加できないとよく聞かすが、各企業に参加しなさいとアピールしてもらおう
- ・市民は居住場所の町内会に加入することを条例にすべき
- ・町執行部が町民の意見を尊重し、真面目に対応することで町の重要性を感じて頂くこと
- ・納涼祭の食券を購入できるようにして、参加して頂ける場を作っている
- ・恒例の行事は毎月の役員会(28の組長と三役)を通じて町民に伝わる
- ・行政事務委託にて地域で取り組む時、どこまで地域住民で市の担当課との関係(どこを市が等)役員間でも意見が異なりまとめにくい
- ・全員参加、加入している

役員の負担軽減について

参考比率 = 回答数 / 190町内会

問13 町内会における担い手を確保するために、地域で実際に行っていることはありますか。

	回答数	構成率	参考比率
① 事務の一部をアウトソーシングしている(外部委託やアルバイト雇用など)	8	3%	4%
② 地域で担い手やボランティアの募集、協力の声掛けを行っている	24	8%	13%
③ 企業や市民活動団体、教育機関(大学など)などと協働して行っている	4	1%	2%
④ 役員任期の明確化や役員複数人制をとることで一部の人に負担を集中させない	66	23%	35%
⑤ 将来の担い手となる世代に企画や運営を任せる	20	7%	11%
⑥ 役員報酬を設ける	37	13%	19%
⑦ まずはイベントの実行委員や運営スタッフとして関わってもらう	40	14%	21%
⑧ 特に何もしていない	70	24%	37%
⑨ その他	21	7%	11%
計)	290	100%	



【役員の選出方法】

- ・役員の輪番制
- ・当番の中から選出(くじびき)
- ・町会長他の役員のリローテーションの明確化
- ・ブロック別の役員構成で若い人にも役員になってもらう
- ・無関心が多い為、現役世代の協力を得るため直接お願いしているが負担が大きい
- ・子ども会の役員が町役員会に参加
- ・前任会長から十二分な引継ぎを受けた。2年前に次期会長と申し渡され、副会長となり、本格的に町内活動に従事した
- ・組長の中から毎年「三役推薦委員会」を組織し、次年度三役への就任交渉する制度にしている

【業務の見直し】

- ・役員業務の負担平準化、業務の見直し
- ・役員の仕事内容の明確化
- ・来年ぐらいにはプロジェクトチームを立ち上げたい

【他の支援】

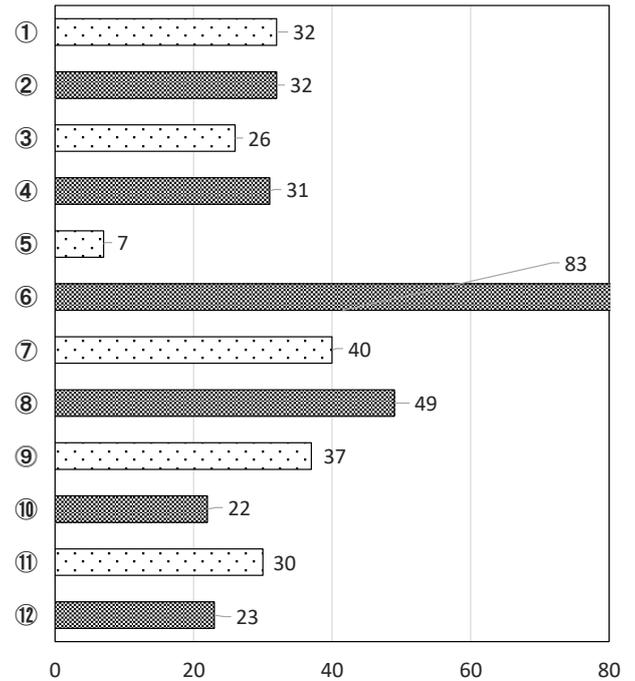
- ・まちづくり協議会に協力する。交流する
- ・中間年齢層の組織団体に支援策を講じる
- ・改善委員会地域見守隊、町内会支援団体の位置づけを明確化した

役員の負担軽減について

参考比率＝回答数／190町内会

問14 町内会における担い手を確保するには、どうすればよい(どうできたらよい)と思いますか。

	回答数	構成率	参考比率
① 事務の一部をアウトソーシングする(外部委託やアルバイト雇用など)	32	8%	17%
② 市から市民に地域活動の参加を積極的に呼び掛ける	32	8%	17%
③ 市から先進地事例などの情報提供が必要である	26	6%	14%
④ 地域で担い手やボランティアの募集、協力の声掛けを行う	31	8%	16%
⑤ 企業や市民活動団体、教育機関(大学など)などと協働して行う	7	2%	4%
⑥ 役員任期の明確化や役員複数人制をとることで一部の人に負担を集中させない	83	20%	44%
⑦ 将来の担い手となる世代に企画や運営を任せる	40	10%	21%
⑧ 役員報酬を設ける	49	12%	26%
⑨ まずはイベントの実行委員や運営スタッフとして関わってもらう	37	9%	19%
⑩ 市からの人的支援が必要である	22	5%	12%
⑪ 市からの財政的支援が必要である	30	7%	16%
⑫ その他	23	5%	12%
計)	412	100%	



【役員の選出方法】

- ・リタイヤした人の長期運営
- ・定年後の人材活用
- ・当町は1期2年だが2～3期は継続して受けられる人材を選出する必要性が求められる
- ・町会長他の役員のローテーションの明確化
- ・役員報酬をしっかり決めること、設ける事で一年間の労をねぎらう事につながる

【運営方法】

- ・町内活動、仕事などのマニュアル作り
- ・市と連絡のとりやすい環境を作る。最初何をしたいか分からなかったのが戸惑った
- ・住民の自主活動や主体的なイベントを地道に積み重ねる
- ・担い手となる人を企画、運営に関わらせる方法を考えている
- ・役員の負担減(配布、会議の回数方法)(同様意見2件)

【イメージ改善】

- ・町内会、自治体に対するイメージ改善。人々の意識改善の両方
- ・町内会の目的メリットを明確に・必要性を周知する
- ・一部だと思うが“苦情係、接衝係”と役員を都合が良いとの安易な考え方の排除の取り組み(モラルの問題か?)

【住民の若返り、高齢化】

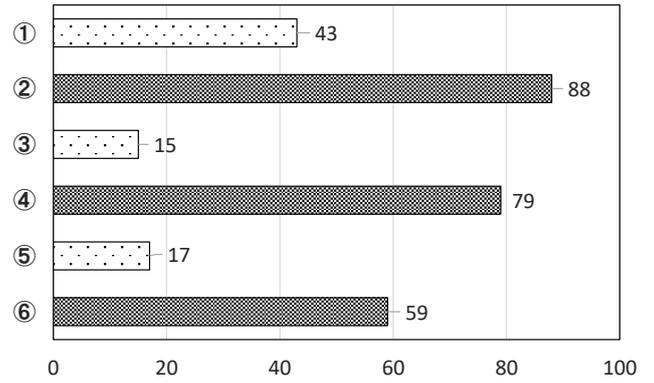
- ・若い人達が住めるように、丘陵地を再開発するなどの計画
- ・現役員6人の内4人が現役で仕事に従事している(60歳以上だが)。町役に対する意識が薄くなりつつあり、今後の町役選出に問題が残る検討要

役員の負担軽減について

参考比率＝回答数／190町内会

問15 町内会と学区組織(まちづくり協議会や自治連合会など)との関係性についてどう思われますか。

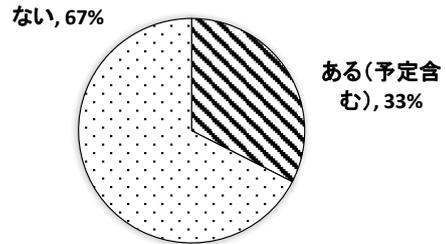
	回答数	構成率	参考比率
① 学区組織と町内会との交流が盛んである	43	14%	23%
② 学区組織と町内会で協働して事業に取り組んでいる	88	29%	46%
③ 学区組織から町内会へ財政的支援を受けている	15	5%	8%
④ 学区組織への協力に負担を感じている	79	26%	42%
⑤ 学区組織へ活動参加することに対し財政的負担を感じている	17	6%	9%
⑥ 学区組織と町内会との関係性がよくわからない	59	20%	31%
計)	301	100%	



集会所について

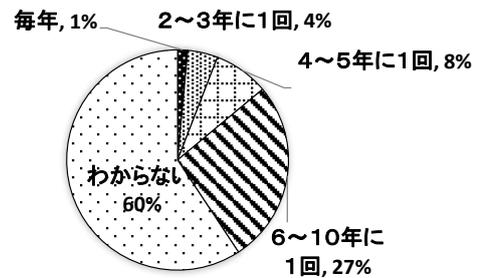
問16-① 修繕計画の有無

	回答数	構成率
ある(予定含む)	53	33%
ない	110	67%
計)	163	100%



問16-② どれくらいのペースで修繕(50万円以上)をしていますか。

	回答数	構成率
毎年	2	1%
2~3年に1回	6	4%
4~5年に1回	11	8%
6~10年に1回	36	27%
わからない	81	60%
計)	136	100%



問16-③ 市の現行補助制度では1町内会1回限りの利用制限があることをどう思いますか。

	回答数	構成率
現状のまま(1回限り)が良い	18	12%
2回まで利用できる方が良い	13	9%
何回でも利用できる方が良い	65	43%
わからない	53	36%
計)	149	100%

現状のまま(1回限り)で良い, 12%

